



分からないが分からないが面白い

中西颯太（今福教室）

はじめまして。今春から今福教室で非常勤講師をさせていただいております中西颯太と申します。塾生としてはパスカルキッズと中学部でお世話になりました。大手前高校を卒業し現在はインド・アーリア文学、ペルシア語、アラビア語を学んでいます。

私からは学ぶことの楽しさについて伝えられたらと思います。突然ですが皆さんはなぜ勉強をするのでしょうか。歴史を学べば音楽、美術、お料理等々、人生をより楽しめる。言語を学べば知らなかった概念を理解することができる。あるいは受験に合格するため。自分の夢をかなえるため。答えは各々にあると思います。私は自分が“何も知らないこと”を知るためではないかと思っています。例えば理科の教科書は人類が誕生した理由も宇宙がいつ消滅するかも教えてくれません。

私たちは何か確実なものを求めようとしがちです。「つまりそれはどういうことか。」「誰が悪いのか。」「いつ平穏な日々を取り戻せるのか。」私は思います。別に急がなくてもよいのです。今すぐに答えを出す必要はありません。すべてを知ることなどできないのだから。

分からないことは人に相談してみましよう。人に話すことで思考を整理することができます。とても効果的な学習方法だと思います。私にも何でも質問してくださいね。

確かに分からないということは恐ろしいことかもしれません。将来に不安がない人などいません。しかし決まりきった未来なんて面白いのでしょうか。すべてを知ってしまったら何を楽しみに生きるのでしょうか。

“分からない” それこそが面白さ、楽しさの正体なのです。“分からないこと”に執着しましょう。なぜ分からないのか。“分からないこと”を知って初めて“分かる”に近づくことができます。そして演習を重ねることそれが“できる”に変わります。テストで得点することと根源的な疑問

を持つことは矛盾しません。かすむ空も風に揺れるブランコもあなたのそばにいる人もいったいなぜ存在するのか、なぜ私たちに見えるのか、いったい何を考えているのか。分からないことだらけです。一寸先は闇かもしれません。でもしっかり前を向きましよう。今日を全力で楽しみましよう。

この春から皆さんの姿を見させていただいておりますが、皆さんが本気になって何かに取り組む姿、覚悟を決めた姿はペルシア絨毯や弥勒菩薩像なんかよりもよっぽど美しく、はっと息をのむことがあります。そんな皆さんに関わることでできた幸せを日々感じながら精進していきたいと思います。



岸田のちょっとイイ話

TEACHER'S VOICE

岸田 圭滋（今福教室長）

一番のやりがいは相手の困っていることに気づき、応えること

私には二人の娘がいます。小学2年生の長女と年中の二女です。長女はまじめな性格ですが、あれこれと人の目を見ながら考えて行動してしまうことがあります。二女はひょうきんな性格で、周りの笑いを誘うのが好きです。しかし、負けず嫌いなことが、いい方向へも悪い方向へもいってしまいます。どうしても親は子供の性格を直そうと、小言を言ってしまう。私も言いすぎて泣かせることも多々あります。そのたびに自己嫌悪になり、もやもやとします。

今福のパスカルキッズの授業終了後、その日の授業内容を伝える時間があります。何ができるようになったかとこれからの頑張るところを伝えるのが主な内容ですが、時には子育ての話で盛り上がってしまうこともあります。保護者の方も私が父親であることをわかってくださっている、いろいろと相談されることがあります。でも、私だって相談したいのに。。。(笑)ここでいつも大切にしているのは「相手の目線に立って話を聞く」ということです。何を困っているのかに気づき、応えることが一番のやりがいです。

教室長になってはや半年が過ぎました。未熟な部分が多く、いろいろな先生にアドバイスをしてもらっている毎日です。特に中学生の定期試験対策について考える機会がありました。目の前の生徒のことを一人一人大切に考え、目標と計画を立て、できているかを確認する。頭の中では理解しているのですが、体が動いていないことがありました。これを機に、自分の行動を見つめ直し、自己改革している最中です。



『毎朝、近くの角まで手をつないで姉を見送ります。』



カイチからのお知らせ

- 10月20日(木)はキッズクラス休校日です。ご注意ください。
- 10月23日(日)は珠算1級～3級の検定試験です。22日(土)は直前練習を行います。詳細は授業内でお知らせします。
- 10月23日(日)は中学3年生対象に進研模試会場受験が実施されます。必ず受験するようにしてください。
- 10月30日(日)は珠算段位検定試験です。10月29日(土)は直前練習を行います。時間は授業内でお知らせします。

生徒と保護者と先生の共育ニュースレター



【本 部】
城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

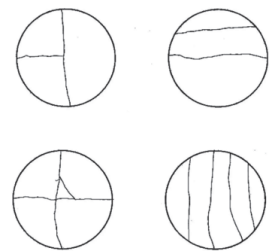
【今福教室】 城東区今福西 2-9-20 TEL.06-6934-4662 【諸口教室】 鶴見区諸口 4-14-9-1F TEL.06-6912-3984 【今津教室】 鶴見区今津南 1-6-2-1F TEL.06-6167-9722 【高殿教室】 城東区成育 5-22-10-2F TEL.06-6786-1008 【エニグマ】 中央区谷町 9-4-5-3F TEL.06-6777-1563	【今福第2教室】 城東区今福西 2-16-8 TEL.06-6931-2000 【関目教室】 城東区関目 4-6-17-2F・3F TEL.06-6934-8117 【古市教室】 城東区古市 3-21-8 TEL.06-6931-0467 【カイチ予備校】 城東区今福西 1-10-17 TEL.06-6935-2220 【万緑会】 天王寺区上本町 6-9-10-3F TEL.06-6772-5011
---	---



高木 秀章（塾長）

1日10分で学力向上と犯罪率低下を実現できる方法

「このホールケーキ、三等分できますか?」ある少年達にこう問いかけると、答えは右のようになりました。おそらく、よく売れた本なのでご存じの方も多いかもしれません。これは、「ケーキの切れない非行少年たち」からの引用です。



医療少年院の子供達の答え
「ケーキが切れない非行少年たち」
宮口幸治著より引用

この本の作者の宮口幸治さんは児童精神科医で、医療少年院と呼ばれる矯正施設に勤務していました。その時にに行った質問が、このケーキの質問です。この問題を前に、悩んで固まってしまった子供達を前に、彼はあることに気づきます。それは、彼らは「反省以前の子供達」なのではないかということです。そこで、宮口さんは彼らに「見る」「聞く」「見えないものを想像する」などの認知能力のテストを行います。すると彼らの認知能力が弱いことが明らかになっていきました。

宮口さんは常々、凶悪犯罪を行った少年にその理由を尋ねても、難し過ぎて答えられないケースが多いことが気がかりでした。従来、更生のためには自分の行いと向き合い、被害者の事を内省し、自己洞察する必要があります。でも、彼らは反省するための認知能力つまり、見たり、聞いたり、見えないものを想像する力が欠如していたのです。

彼らは認知能力が弱いために社会生活においても、話を聞き間違えたり、周りの状況が読めなくて人間関係で失敗したり、短絡的な考えから暴力や万引きなど問題行動を起こしてしまうことがあります。また、彼らは普通の人と区別がつかず気づかれなことが多く、本人も普通の人を装って支援を拒否してしまうケースも多々あります。そのため、周りから「厄介者」扱いされ、生きづらさを感じていることが少なくありません。法務省の統計データから類推すると受刑者の半数近くがそうした人達なのではないかと言われています。

そこで宮口さんが開発したのがコグトレです。コグトレのコグとはcognitive(認知の)という意味です。これは認知能力の向上プログラムです。

コグトレの内容は、身体面、学習面、社会面と3段階に分かれています。認知能力のトレーニングに身体面が入っているのは、認知能力が元来身体的な活動を通して身に付く力だからです。

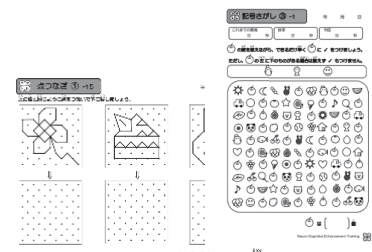
例えば、指先は第二の脳とも言われますが、幼児期には、この指先を使うことで物の大小や自分との距離を測ったり(空間の認識)、ドアノブをひねればドアが開くというような関係性の理解や、そこから生まれる推測(このドアノブもひねれば開くだろう)などの様々な認知能力を身につけていきます。

そして、そうやって養った認知能力を駆使することで、人の表情や態度などを読み取ることができ、コミュニケーション能力などの社会性が育まれます。また、学習の土台をなしているのも認知能力です。学校においても、見る力や聞く力がある子は授業の理解は当然早くなりますし、学習において、こう考えればこうなるだろうなどの推測する力は必要不可欠です。

右にコグトレプリントも載せましたが、パスカルキッズやかいち学童で使われている能力開発問題と似ています。その理由は、両者が認知能力を高めることを志向しているためです。

和泉市の国府小学校では、実際にコグトレを導入して5年になるそうですが、トレーニング前に多発していた教室の飛び出しや離席がほとんどなくなったそうです。

もし、全ての学校で毎朝10分の認知能力トレーニングが義務化されれば、学力向上だけでなく将来の犯罪率も低下するかもしれません。



コグトレプリント。
パスカルの能力開発プリントにとても似てます。

Focus



CLASSROOM REPORT 教室レポート

夏期講習を乗り越え一つまた成長しました！

岩崎 正樹 (諸口教室)

皆さんこんにちは諸口教室を担当している岩崎です！今年も無事に夏期講習が終わり、子供達もまた一つレベルアップしたと感じています。夏期講習が終わったと思ったら今度は9月初めの課題テスト、9月末頃～10月中旬のどの期間かにある中間テスト、中学3年生に至っては+受験対策講座であったり、実力テスト、第4回五ツ木模試…一難去ってまた一難と子供達も我々大人もまだまだ気が抜けません。大変な時期が続きますが、しっかり子供達を見守り続けていきたいと思います！

そんな大変な中、今回は生徒達の頑張りをたくさん紹介していきたいと思います！

中学部～9時間自習！

定期テストが近づくとう塾には、定期テストがある前の週の土曜日に9時間自習という、学校や塾の課題を終わらせたり、分からない所を先生に質問したり、自分の苦手箇所を無くすために作問依頼をしたり、補習を行ったりする日があります。

この日は先生達も子供達も気合が違います！ある生徒は、黙々と自分の課題を終わらせるためにひたすら勉強していたり、ある生徒は、先に自分のすべき課題を終わらせておいて、作問依頼等の+αの勉強をしていたり、ある生徒は自分の力でできるところは全て終わらせておき、その日は先生に質問をし続けるといった多種多様なスタイルでこの日に臨んでくれています。先生達も教室で、生徒の自習を見守っていたり、質疑応答を行ったり、ひたすらパソコンと向き合って無くなならない作問依頼を作り続けていたり、9時間自習の日は先生も生徒もとても大変な日になります。

私が生徒の時というのは、9時間自習はとっても嫌な日の一つでした(勉強嫌い運動大好きという人間でしたので)。ですが、最近の生徒達は「先生は9時間自習に来ますか？」や、「質問が大量にあるんですけど当日は質問できますか？」、「今回は補習を行いますか？」など、9時間自習に対して多くの意欲的な言葉を聞きます。その度に(この生徒達はこんなに真剣にやってくれている！)と思い、こちらも答えようと燃えます！

現在、諸口教室では3時間自習を行っておりませんが、連日たくさんの生徒が自習に来て頑

張っています。生徒の気迫に負けないよう、私達も精一杯生徒に向き合い寄り添っていくと思っています！

小学部～月の終わりは診断テスト！

なにも頑張っているのは中学部だけではありません！小学部の子供達もたくさん頑張っています！

小学生は毎月、月末にある診断テストに向けて精一杯頑張っており、子供達の中には「先生、今回の算数めっちゃ出来そうな気がするわ！」「という子がいたり、「あかん、今回は難しい。でも合格点をしっかりとれるよう頑張るわ！」「と、苦手な分野があるからといって、逃げ出したりせず、しっかり立ち向かう真面目で元気な子がたくさん開智には在籍しております。

私が現在見ている学年は、小学4年生と小学



中1。黙々と勉強に集中しています！



中2。一生懸命やっています！



生徒からの策問依頼もたくさんきます！



6年生。4年生は初めの頃と比べ、宿題で合格点を取れる子が増えてきたり、授業を最後まで集中して学習できる子が増えてきて、すごく成長を感じています。6年生も塾に慣れてきているのもあり、宿題がほぼ全員合格！多少のジョークも混ぜつつ、中学生の話も混ぜつつ、6年生らしく真面目に楽しく授業を受けており、しっかりと成長を見守ろうと思っています。

この記事が届くころは中間テストが終わり、一息付ける瞬間が待っていることでしょう。そんな時は一度やるべきことを振り返り、部屋が汚いなら掃除をし、テキストの途中で解き終わったところの残りを解いたり、中途半端で済ましているところを一度整理してみましょう！そして、今回のテストで満足いく結果が出た子も出なかった子も、次こそは！という思いでテストを頑張しましょう！

Education

KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育



かいち学童今福校オープン！

マナロ 恭子 (関目教室)

関目のかいち学童がオープンして半年が経ちました。毎日の宿題や家庭学習、読書に習い事。見てあげればいいのは分かっているけれど、仕事に家事に育児と忙しくて手が回らない…そんな働くお母さん達の「あったらいいな」をカタチにしたのが、かいち学童です。

現在、関目の教室には1年生が10名、2年生が2名通っています。全員が「宿題→おやつ→能力開発問題を解く→読書」というルーティンを、毎日自ら行動できるようになっています。もちろん、はじめはなかなか宿題に取りかかろうとせず、すぐさまおもちゃで遊び始めたり、先生が傍にいないと一人で宿題を進めることができなかったりしました。幸いにも、かいち学童に来てくださっている先生達はとても熱心で、子供達が大好きで、勉強を見るのも、一緒に遊ぶのもピカイチな人達ばかりです。先生達のおかげもあり子供達も心身共にとても成長したように思います。

そこで、今回は関目教室の学童の様子をぜひご紹介したいと思います。なぜなら、来年今福第一教室のすぐ傍にも、かいち学童がオープンするのですが、なんと！**定員10名！関目教室も来年度の新1年生の定員は13名ですが、9月時点で既にお申込みが多くあり、残席わずか**となっています。学童をお考えの方はぜひお早めにご連絡してくださいね！



「ただいま～」と元気に帰ってきます。関目小、関目東小、鯉江小、鯉江東小、今福小はお迎えに行きます。



1年生は帰ってきたらすぐに宿題に取り掛かります。



3時過ぎになるとおやつの時間。



おやつ後は能力開発問題に取り掛かります。楽しい問題だから皆大好き！



後は自由時間。皆で遊んだり、それぞれ好きなことをしたり…。皆この自由時間を多くしようと勉強を頑張ります。



時間が来たらキッズコースの習い事に先生と一緒にいきます。



次は10分間読書。かいち学童で人気の本はこちら↓



Hello! 子供達のことは私達にお任せください!



毎日の様子はココから

長期休暇中は朝からオープン！アクティビティも盛沢山！



責任者はルイージ先生です！(9月に娘ちゃんが生まれたばかり！)大きくてクマさんみたいですが、とても明るくて優しくてかわいい♡そのギャップが子供達に人気がある秘訣？！日本語もペラペラで漢字も読めますので保護者の方も安心して何でもご相談ください。もちろん英語でもOKです！